



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> [mail@ken-nonoyama.com](mailto:mail@ken-nonoyama.com)

No.745 2025.2.19

日本共産党北区議員団  
〒114-8508 王子本町1-15-22  
ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

21日より区議会第1回定例会 新年度予算案を審議

# 求められる暮らしの支援

新年度予算案には、妊婦のための支援給付や子ども食堂への補助拡大などの子育て支援拡充のほか、党区議団

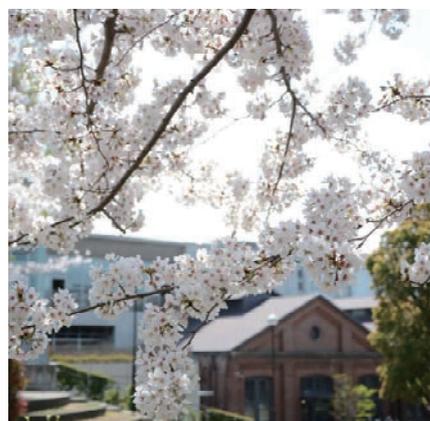
**子育てや中小企業への支援を拡充**

21日より3月25日まで、北区議会第1回定例会が開かれます。初日と25日には本会議場にて各会派の代表質問と個人質問が行われ、3月5日からは7日間の予算特別委員会で新年度予算案について集中審議が行われます。

一方、「積極的予算」といながら年度末と新年度で約80億円を基金に積み立て、財政調整基金は過去最高の228億円に。物価高騰に対する暮らしや営業の支援は十分とはいえません。(のの山けん)

**物価高騰対策は十分とはいえず**

がこれまで求めてきた中小企業・商店街への支援やコミュニティバス赤羽西ルートの検討などが盛り込まれました(裏面参照)。



東京都北区  
令和7年度予算案主な事業 (2025年度)  
令和7年2月

区民に豊かさが、「広がる区政」を  
目指した積極的予算

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

※これは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

※北区2025年度予算案の主な事業(プレス資料)は、こちらからご覧ください→



## 北区議会第1回定例会 日本共産党北区議員団の本会議質問

代表質問

2/21

(金) 13:30頃



山崎 たい子 議員

個人質問

2/25

(火) 15:20頃



野口 まさと 議員

# 新年度予算案の主な事業

北区の2025年度予算案に計上された主な新規事業を紹介します。



## 妊婦のための 支援給付

3億1000万円

ギフトカードの支給に替えて、妊娠時に5万円、出産後に5万円の現金給付を開始する。希望者には、現金ではなくギフトカードを送付する。



## 子どもの居場所 づくり支援

1億2380万9000円

子ども食堂への補助を1団体5万円引き上げるとともに、生活困窮・ひとり親世帯等への学習支援受講期間を2か月間延長し、通年開催化する。



## ヤングケアラー の周知啓発

1100万円

北区らしい10～15分の実写ショートムービーを作成・発信。ヤングケアラーについて正しい知識を広め、誰もが相談しやすい環境を作る。



## 通所型短期集中 予防サービス

3651万1000円

現行のマンツーマン型（リハビリ専門職中心）の委託要件を緩和し、新規参入の幅を広げ、区内全域への拡充を目指す。



## 肺がん検診の 拡充

1億113万1000円

肺がん検診が、特定健診等と同時に、身近な医療機関で受診できるようにすることで、受診率の向上を図る。



## 中小企業・ 商店街への支援

1億556万2000円

中小企業のブランディングやデジタル化を支援、商店街イベントには補助率11/12、上限額500万円の組織活力向上支援事業枠を設ける。



## 大規模水害 リスク診断書

3825万円

荒川氾濫時に浸水被害が想定される約12万世帯に「我が家の水害リスク診断書」を作成・郵送し、大規模水害への備えを日頃から考える契機とする。



## コミバス赤西 ルートの検討

608万9000円

コミュニティバス赤羽西ルートについて、地域住民へのアンケート等を実施し、地域の意見・要望を踏まえた運行形態やルート等を選定する。